日本まち物語

協賛：アズビル金門株式会社

第50回

千葉県大多喜町
城と渓谷、そして名建築

房総半島の真ん中に位置する千葉県大多喜町は、江戸時代に城下町として栄えた。2本の川が房総丘陵を深く刻んで流れ、渓谷を形成している。一度この街を訪れ、虜になってしまった旅人は少なくない。

（今井 伸）

◇

■城下町の名残り

つげ義春は、今から50年ほど前、「あしたのジョー」「巨人の星」などスポーツ漫画全盛期に、暗くて切ない〝純文学〟のような作品を描いた漫画家である。彼は1965（昭和40）年ごろから、何度も大多喜町を訪れ、その体験から「紅い花」「西部田村事件」などの代表作が生まれた。大多喜への移住を計画したこともある。

旅のエッセイもたくさん書いた。『苦節十年記／旅籠の思い出』（ちくま文庫）によると、大多喜の定宿は恵比寿楼で、大屋旅館にも泊っている。恵比寿楼は取り壊されたが、大屋旅館は現在も目抜き通りに堂々たる姿で建っている。

大多喜の市街地は、「C」字型に蛇行する夷隅川に囲まれた台地に広がり、どこからでも山上の大多喜城を仰ぎ見ることができる。徳川家康を支えた「徳川四天王」の一人、本多忠勝が近世大多喜城の初代城主になり、町を築いた。石高は10万石。半島中央部の交通の要衝だったので宿場町の性格も強い。現在の城はコンクリート造りで、県立博物館の分館になっている。

歩いてみると、江戸から明治時代に建てられた商家、旅館、酒蔵などの木造建築がたくさん残っている。蔵造りの建物もある。藩御用達を務めていた渡辺家住宅は1849（嘉永2）年に建てられ、現在は国指定重要文化財として町のシンボルになっている。このほか国登録有形文化財が11件あり、大屋旅館もその一つである。

大多喜の魅力の第一は、このような時を経た建物を回りながら、ゆっくりと流れる時間に浸ることであろう。もし、建築に興味がある人なら、昭和・平成時代の名建築を楽しむことも可能だ。

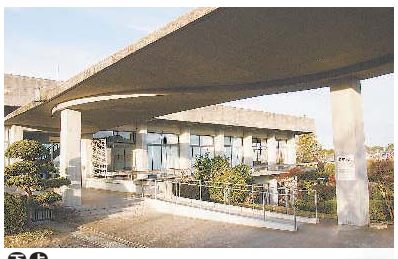
■美しきモダニズム建築

「大多喜町役場庁舎」は1959（昭和34）年に完成した。コンクリート打ちっぱなし、直線を基調にしたモダニズム建築である。設計者は早稲田大学建築学科教授の今井兼次。若いときに早稲田大学図書館、後年に長崎の日本二十六聖人殉教記念館と名作を残したが、同庁舎は彼の代表作で、59年度の日本建築学会作品賞（国内建築家に贈られる最高賞）を受賞している。

建築には流行がある。装飾を排除したモダニズム建築は、行き過ぎた機能主義だと批判され、後にポストモダンの新しい流れが生まれた。しかし、同庁舎の細部を見ると、繊細なデザインと職人技が施され、なんとも言えない心地よさを感じる。今井は、モダニズム建築の対極にいるガウディの日本への紹介者でもあった。

同庁舎は手狭になったため、2011年に北側に新しく本庁舎を増築し、これまでの庁舎は修復保存が行われた。戦後、各地に建てられた多くの名建築が姿を消した。丹下健三が設計した前の東京都庁舎も壊された。大多喜町では有名な建物がある。「こんな校舎で勉強できれば、楽しいだろうな」と思ってしまうような校舎だ。

庁舎の近くにある大多喜小学校に行ってみると、子供たちがサッカーに興じていた。後方の大多喜城が、校舎と子供たちを見守っていた。もう一つの老川小学校は、市街地から離れた場所にある。この記事の後半で改めて紹介したい。



上 修復保存された町役場庁舎
下 街の中心にある大多喜小学校

夷隅川を渡るいすみ鉄道（渡辺新悟さん撮影）

わがまち自慢

K&Oエナジーグループ社長
大多喜ガス社長
緑川 昭夫さん

大多喜は当社創業の地

1931（昭和6）年に、当社グループは大多喜町において、天然ガス事業会社「大多喜天然瓦斯」の社名で創業しました。大多喜町および大多喜町長も出資者となり、町長の提案で社名に「大多喜」の文字を冠するに至りました。2013年には観光振興を目的として、いすみ鉄道大多喜駅前に「天然ガス記念館」を建設し、寄贈させて頂きました。今年、当社グループは創業90周年を迎えますが、その年の初めに大多喜町を紹介させていただけるのも何かの縁と思います。

歴史、自然、文化、観光の各面でとても魅力的な町です。ぜひ一度、お訪ねください。

田舎暮らしにあこがれて

㊤つげ義春も泊まった養老渓谷温泉「川の家」㊦矢島さん夫妻

つげ義春は大多喜への移住を果たせなかったが、空き家になった農家を買ったり借りたりして移住した人は少なくない。移住者に会うため、山間部に行ってみた。

大多喜を流れる2本の川に沿って鉄道が通じている。夷隅川に沿って太平洋側の大原（千葉県いすみ市）まで行くのがいすみ鉄道。養老川に沿って東京湾岸の五井（同市原市）まで行くのが小湊鉄道である。両線は上総中野駅で接続している。また両線は関東地方屈指の〝絵になるローカル列車〟として有名だ。

その上総中野駅から山道を車で5分ばかり上ると平坦な場所に出た。十数件のうちの1軒に矢島満月さん（66）、静子さん（同）夫妻が暮らしている。「宅地が500坪、田、畑、山林が3000坪。築50年の平屋建て5DKの住宅がついて1000万円でした」と言う。神奈川県相模原市で経営していた日本料理店をたたみ、7年前にここに来た。それまで10年以上、終の棲家を求めて日本中を調べ、大多喜に落ち着いた。

矢島さんには特技がある。罠を仕掛けて、イノシシ、シカ、サルなどの害獣を捕獲するのだ。中山間地域は野生動物の被害が大問題になっているため、捕獲すると自治体から報奨金が出る。食べきれない肉は知人におすそ分けしている。「新参の私たちに、みんな親切にしてくれます」。終の棲家探しは成功したようだ。

左から芦田さん、安井さん、阪本さん（旧老川小学校）

上総中野駅から一山越えると、養老渓谷温泉近くの山を整地して作った場所にあった。児童数が減ったため、残念ながら2013年に廃校になり、今は「旧老川小学校」と呼ばれ、校舎はきれいに保存されている。

年の暮れの土曜日に行ってみると、入り口に「あおぞら市」の看板があり、校庭に人が集まっていた。大きな焚火を囲んで、豚汁、焼き芋の店、長野県の新ストーブメーカーの実演展示などが行われていた。何をしているのか知りたくなり、係員に責任者を紹介してもらった。背の高い女性が出した名刺には「株式会社良品計画」とあった。世界ブランド「無印良品」を運営する会社である。後日、取材する約束をして引き上げた。

年明け後、再度訪問。前回と違って人影がなく、まるで宇宙人が人間に見つからない場所に作った秘密基地に見えた。1室に「良品計画・大多喜事務所」があり、芦田桂子さんが待っていてくれた。芦田さんは16年前に入社し、主に海外部門で働いた。社内公募で選ばれ、昨年10月に赴任してきた。夫と小6の娘さんは東京の自宅に残し、この近くのログハウスを借りて住んでいるそうだ。

良品計画は、14年に「ソーシャルグッド事業」をスタートさせた。地元と一緒に地域の活性化に取り組むことで地域にネットワークを築き、縮小が続く国内小売マーケットで新しいビジネスモデルを作るのが目的だ。千葉県鴨川市では棚田の保護活動、道の駅の農産物販売所の活性化支援、南房総市では廃校の活用などの事業を行っている。旧老川小については17年に賃貸契約を結んだ。

「大多喜では、古物回収・販売の『おゆずり良品』事業を考えています」と芦田さん。体育館に行ってみると、集めた農具、生活用具、家具などが保管してあった。

「年末のあおぞら市はキックオフイベントでした。東京からたくさんの人が来るはずでしたが、コロナのため地元に限定しました。2月以降、毎月開催予定です」。

芦田さんの取材を終えると、同じ部屋でパソコンに向かっていた男性が話に加わってきた。阪本康太郎さん（58）。17年前に、米作りをしたくて東京都町田市から家族で移住してきた。築100年以上のかやぶき屋根の農家を月4万円で、ほかに水田を借りている。本職は特許事務の英訳。筋金入りのリモートワーカーである。「家にいるとつい農作業をやってしまうので、仕事の時はここに来ます」。月6000円（1日利用なら500円）で、このスペースを使えるのだ。

地域の事情に詳しく、人的ネットワークを持つ地元スタッフの安井由紀さんが芦田さんをサポートしている。阪本さんは2人の活動に興味を持ち、地域のためにもなると思い、ボランティアで自分の軽トラックを使って重い荷物の運搬を買って出ることもある。

■国産天然ガスの故郷

いすみ鉄道の大多喜駅前に、「天然ガス記念館」があり、3基のガス灯が灯っていた。大多喜町は、千葉県で初めて水溶性天然ガスが発見された場所だ。現存する日本最古の天然ガス事業会社である関東天然瓦斯開発の発祥の地である。養老渓谷温泉は大正年間に、黒く濁った鉱泉（黒湯）が発見され、そこで湧出する天然ガスで加熱したのが始まりと言われている。

記念館は、天然ガスのミニ博物館なのだが、便利な場所にあるので待ち合わせの場になっている。筆者も、渡辺新悟さん（74）から、ここを指定された。いすみ鉄道の写真を毎日撮影しフェイスブック「今日のいすみ鉄道」にアップしている人だ。渡辺さんにお願いして、本記事にも写真を1枚使わせてもらった。渡辺さんは若い頃小湊鉄道で働き、カメラ趣味が高じて写真館のカメラマンになった。今は悠々自適の生活。「撮影しながら、線路の見守りもしています」。経営環境が厳しいいすみ鉄道の力強いサポーターである。

㊤天然ガス記念館前のガス灯
㊦渡辺新悟さん

SMaaS

アズビル金門は
SMaaS™でスマート社会の
実現に貢献します。

新たな
価値・サービス

●データ
加工・分析

●データ収集

●計量

都市ガス用クラウド
水道用クラウド
ガスミエール™
MDCS

SMaaS……Smart Metering as a Serviceの略
多種のデータを重なり合わせることで、賢い「計量」を提供するサービスのこと

MDCS™
メーターデータ
クラウドサービス™

契約後
即時
利用可能

いつでも
どこでも
データ
閲覧可能

メーター
ひとつから
導入可能

イニシャル
コスト
最小化

「データ」を活かして最適なエネルギー管理を。

システム
保守・運営
MDCS
データ閲覧
アズビル金門
メーターに関する情報提供
ガス事業者様
毎日検針
ロードサーベイデータ
サブスク：おまかせパック
期限管理・メンテナンス
顧客接点強化
新たな営業提案

azbil
アズビル金門株式会社
〒170-0004
東京都豊島区北大塚一丁目14番3号
URL： https://ak.azbil.com/

製品に関するお問い合わせ
製品サポートセンター 0800-222-3322（通話無料）
受付時間：10:00～12:00 13:00～17:00
（土曜、日曜、祝祭日、および年末年始、春季、夏季の弊社休業日を除く）